留学×就活 ～両立の可能性～

時代は就職氷河期まっただ中。“留学に行ってみたい!”そう考える学生は多いはずです。しかし実際、“就職活動への影響は?”“両立って出来るの?”そんな不安や疑問の声もたくさんあります。この2ページは、「現代社会研究ゼミ(メディア論)」生が外大生のためにお送りする、就職活動と留学の現状です。

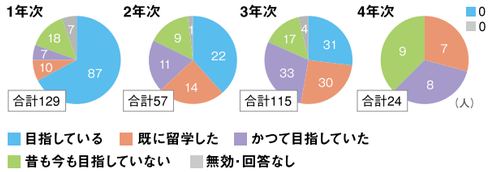
さあ、あなたはどんな一歩を踏み出しますか?



留学個別相談会の様子

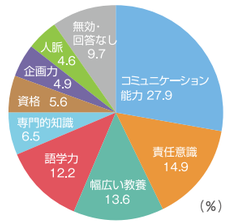
Q.1「いま、あなたは留学を目指していますか」

学年が上がるにつれて留学経験者はある程度増加するものの、留学志望者は大幅に減少する尻すぼみ傾向にあることが分かった。



Q.2「将来、就職の際に重要な能力は何ですか」

コミュニケーション能力・責任意識・幅広い教養・語学力を挙げる学生が多い中、キャリアサポートセンターが挙げる幅広い人脈形成を選ぶ学生は少数にとどまった。



キャリアサポートセンターに聞きました



取材に答える(左から)池崎宏昭センター長、齋間健志キャリア支援課長

「学生じゃなきゃできないことを、おもいっきりやればいい」

――「語学力の向上」を目的に留学する学生がたくさんいます。語学力のためだけの留学でいいのでしょうか。

キャリアサポートセンター(以下 キャ):語学能力を高めるためだけなら、別に留学に行かなくとも、大学で4年間学べばいい。

――では、留学しないとできないこととは。

キャ:人脈をつくりに行くのが留学。自身のネットワークを広げることで、人間力の幅が広がっていく。それは、ものすごく財産になる。

――企業が「留学経験者」に求めるものは何でしょうか。

キャ:世の中の変化が早すぎる今、企業は適応力を、すごく大事にしている。この適応性をつけるには座学だけでは無理。やはり、いろんな経験が必要。だから、留学をしないとできないことを向こうで経験してきた、という学生に対して、企業は非常に興味を持つ。

――留学と就活は相反するものなのでしょうか。

キャ:大学を出れば社会性を求められるし、加えてこの大学の学生というのは、幅広い世界を見る目とか異文化を理解する能力も求められている。だから留学も、そういうものを4年間で培うための一つの手段であり、留学と就活が別々にあるわけではない。

――現在、留学を考えている学生たちにアドバイスをお願いします。

キャ:大学は就職のための予備校ではないのだから、学生でなければできないことをやってほしい。その結果、「こういうふうに自分が学生時代過ごしてきました」と語れるものが、たくさんできてくるのではないか。

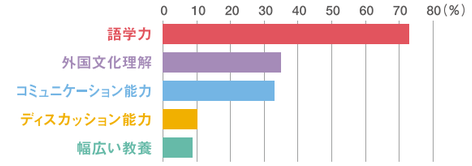
学生にアンケート

私たちは「メディアと言語」など7科目の授業で「留学と就活」をテーマにアンケートを行い、325名もの方々にご協力いただきました。一部をグラフでご紹介します。

詳しい結果は、別途外大ホームページで公開します。

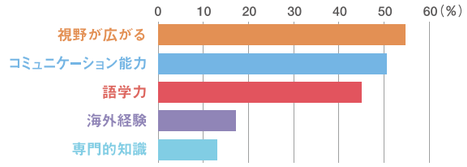
Q.3「あなたの留学の目的は」

「就職時に重要」と圧倒的な支持を集めたコミュニケーション能力を差し置いて、語学力の向上を留学の目的と挙げる学生が目立った。



Q.4「留学がもたらす良い影響は何でしょうか」

世良さんのインタビューからも分かる通り、視野の広がり・コミュニケーション能力・語学力の向上が実際に結果にも反映されていることが分かる。



留学経験者に聞きました

「留学に行くなら、がむしゃらになれ!」



世良 英誉さん
ドイツ語学科4年次生
福岡・三池高校出身
2010年の春から認定留学でドイツのヴュルツブルク大学に1年間留学。1年次では、1カ月の海外セミナーにも参加

――留学で語学力はあがりましたか。

世良さん(以下 世):留学当初は、言葉の壁に、すごく焦った。ただ最初の1カ月、死ぬ気で勉強した。おかげで、しゃべれるようになった。勉強の仕方の工夫とかもいろいろしたけど、語学力の向上には、人と話すことが1番いい。

――コミュニケーション能力は?

世:大学入学当初は人見知りだった。大学生活で、それが少しずつ改善されていき、留学に行くのだから、「踏み出そう」と決めた。留学先では、世界中の人と友達になれた。ドイツ人、アメリカ人、スウェーデン人、スペイン人、イラン人…。とにかく外国人の輪に飛び込み、連絡先を聞いては、一緒に遊びにいった。だから、留学でコミュニケーション能力はむちゃくちゃ上がったと思う。帰ってきてからも、人と話すのが好きになった。

――留学経験で得たものはなんでしょうか。

世:正直分からない。ただ、留学をしたという経験自体は、自分のなかに経験値としてある。それは、自信に繋がっている。

――これから就活をする学生に一言。

世:何も考えずに暮らしているのが1番ダメ。留学以前の自分は、「学ぼう」という意識が低かった。就活にしても勉強にしても遊びにしても、与えられたものだけやるのではなく、自分から積極的にいくことが大事。

――いま留学を考えている学生に一言。

世:留学は行った方がいい。ただ、行くって決めたのなら、がむしゃらにならないと。わざわざ留学しに行くのに、日本と同じような暮らしを求めてはいけないと思う。



外大生の実

ところ違えば文化も違う!
ひとが違えば学生生活も違う!あなたは「学生生活」という木に、四年間でどんな実を実らせたいですか?



語学力向上という理由だけの留学では、あまりいい印象をあたえられへん。逆に視野が狭いと思われたこともあるし。

目標をもって留学に行った友達は、留学が就活に活きてるって言ってるよー。

正直、1年くらいの留学経験やったら、海外での就職は、よくてバイト。現地企業での採用は、ほぼ不可能やろうな。

生産拠点を海外に移す企業が増えたおかげで留学経験者のニーズが強まった。留学しておくと有利かもしれへん。

現地の雰囲気にのまれて「就活なんてしょうもな」って気分になる。

現地で会った20代後半の日本人の言葉。「自分は会社を辞めてここに来た。ぼくの再就職に比べたら、大学生の休学なんて楽なもんですよ。」



2次面接までは「留学!?すごい!」って言われたけど、3次面接では「で、なに?」ってバッサリ…。

現地でもエントリーはできるし、企業と連絡だってとれる。日本にいる友達から情報を聞くのも◎。

留学奨学金制度もあるよ。奨学金制度をフル活用!足りそうにないなら必死にバイト!



留学に行ったのなら語学の上達なんて当たり前、と企業は思ってる。

「社会人にはコミュニケーション能力が必要と、学生は考えているが、企業は1番に主体性を求めている」という新聞記事に納得。

留学には出会いがたくさんあった。現地で恋をする。語学力の上達にはこれが一番!



制作:現代社会研究ゼミ(メディア論) 担当教員:長谷 邦彦
小柳 亮平(リーダー)・藤岡 弘樹(サブリーダー)・中村 沙耶・新野 令賀・廣瀬 守・上川 恭平・竹内 良・山﨑 裕加里・坂本 玖実子・青野 希穂・槌谷 歩波